

# 抗酸化工法でストレスフリーの家

## 「抗酸化住宅」が話題！

### 会田総合研究所



施工例

体に必要な物質であるが、体の酸化も抑制できるの余るとDNAを傷つけること、住みながらにしてアンとがある。細胞が酸化するチエイジング効果が期待でと正常な働きが失われ、肌きる。

家の中にある活性酸素だり、動脈硬化や糖尿病などけでなく、有害な化学物質の生活習慣病、アトピー、も分解・除去してくれるのアレルギー、ガンなどを引き起こすと言われている。(化学物質過敏症)にも効果的。合板、断熱材、接着

同社は、抗酸化工法による「抗酸化住宅」を推奨。剤などの建材や家具には化学物質(ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、

「いっきコート」を可塑剤、揮発性有機化合物(ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、)が含まれており、有床下などに塗り込む。そう書物質を放出している。その還元力が発揮され、空気中の善玉菌と悪玉菌のバランスを整え、酸化や腐敗を抑

制することができる。有害指定七物質の濃度を測定では、アルデヒド類の

かボロボロになってしまふ。これは酸化が原因。酸化とは物質が酸素と結合したり、物質の水素を奪ってしまう現象である。酸化すると、物は錆びたり腐敗してしまふ。

そして、人にも同じことが起こる。酸化の原因は、空気中や体内にある余剰活性酸素にある。活性酸素は

採取量がゼロという結果も報告されている(表参照)。

さらに、調湿効果・省エネ効果も発揮する。抗酸化工法で塗布する「いっきコート」には、抗酸化溶液の入りったバイオシーラーのほかに、珪藻土には調湿効果があり、室内の余分な湿度は吸収し、乾燥すると排気は吸収し、乾燥すると排出してくれる。空気をきれいにする特殊酵素との相乗効果で、部屋の中は一年中快適。光熱費も削減でき

また、帯電防止とハウスダストの抑制効果もあり、それにより床や壁、天井に汚れが付きにくくなる。煙草やペットの臭いなど、生活悪臭をも還元・分解して

建材として使用されている合板、集成材、ビニールクロスや接着剤などに有害化学物質が含まれていて、抗酸化工法なら建材からの発生する有害物質だけでなく、家具や家電など建築後に入る調度品からも不安物質を取り除くことができ

から建材の傷みが遅く、住宅も健康で長持ちするの、メンテナンスコストも抑えられ、経済的である。

酸化や結露を抑制することから建材の傷みが遅く、住宅も健康で長持ちするの、メンテナンスコストも抑えられ、経済的である。

表 有害指定7物質の濃度測定結果報告書

測定項目	単位	測定結果	基準値
温度(アルテヒド類)	℃	8.2	—
湿度(VOC類)	℃	8.2	—
相対湿度(アルテヒド類)	%	79.5	—
相対湿度(VOC類)	%	79.5	—
採取量(アルテヒド類)	L	—	—
採取量(VOC類)	L	—	—
採取時間(アルテヒド類)	—	12:15-12:00	—
採取時間(VOC類)	—	12:18-12:00	—
ホルムアルデヒド	ug/m3	9	100
	ppb	8	90
アセトアルデヒド	ug/m3	12	48
	ppb	7	30
トルエン	ug/m3	9	260
	ppb	2	70
キシレン	ug/m3	7	670
	ppb	ND(検出限界以下)	200
スチレン	ug/m3	ND(検出限界以下)	220
	ppb	ND(検出限界以下)	50
エチルベンゼン	ug/m3	ND(検出限界以下)	3800
	ppb	ND(検出限界以下)	890
パラジクロロベンゼン	ug/m3	ND(検出限界以下)	240
	ppb	ND(検出限界以下)	40



下地ボードに「いっきコート」を塗布している様子

施工例(省エネ抗酸化蓄熱温水床暖房)